# 世界選手権日本代表が続々と決定！

この夏、フィンランドで行われる世界選手権に向けて選考会がすでに開催されている。
全日本男子チャンプの松澤と女子チャンプの金並をはじめ、男子は村越、鹿島田、女子は木植、塩田が、日本代表に選考された。

## ベテラン勢 復活！

4 月 15 日、世界選手権に向けての選考会が岐阜県恵那市の根の上高原で行われた。予選決勝方式で行われたショート形式のこのレースでは、男子は村越が、女子は木植の 1960 年生コンビがトップをとり、世界選手権代表の座を獲得した。村越はこれで 1981 年以来 11 回目の代表、木植は 97 年以来 4 年ぶり 7 回目の代表の座である。

全日本で 7 位に終わった村越は、4 月 30 日に行われる 2 本目の選考会の不出場が決まっており（運営のため）、このレースが世界選手権への唯一のチャンスであったが、重圧を乗り越え、予選・決勝ともトップで代表の座を獲得した。前回体調不良で選考会不出場だった木植も、昨シーズンは徐々に調子を上げ、2 月に行われた予備選考会をかねたショートレースでもトップと、堂々たる復調であった。

このレースでは、トップの 105%以内の選手も代表選手として選考される。この条件によって、男子鹿島田浩二と女子塩田美佐も代表選手の座を獲得した。鹿島田は、インカレの試走時より風邪気味で、全日本も今一つの体調だった。この日も十分とは言えない体調の中でレースをまとめたのはさすがである。鹿島田は世界選手権 7 回目出場。

7 回目の世界選手権出場を決めた鹿島田浩二

## 初出場の塩田に期待

特筆すべきは塩田である。どちらかと言えば走力タイプで技術的なコースと大きな勝負に弱いと見なされていた塩田であるが、この日は詳細な地図読みとスピードのコントロールが要求されるコースで、ベテラン木植に 30 秒と迫る好レース。テクニカルなテレインにも十分対応できる能力をアピールした。このレース結果によって、塩田は 8 月に開催されるワールドゲームズの代表選手として選考される模様である。

全日本 M21E 3 位だった加賀屋は、午前の予選で冴えのないレースで予選落ち、また全日本 5 位の高橋は決勝に進出したものの 1 ミスに泣いた。高橋がミスした決勝 7 番コントロールは、他にも松沢、上坂なども大きなミスをしていたが、高橋はこのミスがなければ、2 位ないし 3 位相当のタイムで、十分代表がねらえるタイムであった。

全日本チャンピオンの松沢は、すでに代表として選考されているが、この日は精彩を欠くレースで、予選は 1 ミスで通過ぎりぎり、決勝では前半からキレを欠いたレースで 7 位であった。またA級強化選手の藤城は、秋から全日本にかけての予選では、満足のいく結果を残せなかったが、世界選手権代表の座がかかったこのレースでは、さすがにまとまったレースで、代表の座獲得はならなかったものの、鹿島田につぐ 3 位で、次のレースへ希望をつないだ。

女子はベテラン組の高野、宮川、田島が予選では上位を占めたが、決勝では満足のいく結果を残せなかった。

世界選手権代表選考会 2 本目は 4 月 30 日に、昨年ワールドカップが開催された勢子辻で、富士山こどもの国大会と平行して開催される。

安定したレースで世界選手権初出場を決めた塩田美佐